

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課

担当名: 花き・果樹・特産・水産担当

内線: 4146

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B68	茶業研究所施設管理事業			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び水産業	蚕糸特産研究費	茶業研究所費		
事業期間	平成27年度～平成29年度	根拠法令				宣言項目	09 儲かる農業の推進			
						分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立			
1 事業の概要 建築年数が40年以上経過した茶業研究所について、施設の耐震補強工事のための耐震診断や工事設計を実施するとともに、耐用年数を大幅に超過した設備等の更新を行い、県民や職員が継続して安全に使用できるようにする。  (1) 茶業研究所施設調査 △82,154 (5) 電気設備の修繕 △1,359				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 茶業研究所施設調査 122,069千円 建物継続して安全に使用するため、耐震性の低い建物の耐震工事を行う。 イ 製茶機械整備 8,733千円 県民や職員が継続して安全に研修や研究を実施できるよう、耐用年数を大幅に超過した茶業研究所の製茶機械を更新するとともに再製室の空調設備を整備する。 ウ 茶成分分析機器の整備 12,179千円 試験研究に重要な茶や土壌の成分分析を行うため、耐用年数を大幅に超過した茶業研究所の成分分析機を更新する。 エ 試験ほ場管理機械等の整備 11,125千円 試験ほ場の管理を行うため、老朽化が進んだ防霜施設の修繕を行うとともに、ほ場整備に必要な機械を導入する。 オ 電気設備の修繕 1,546千円 施設を安全に利用するため、老朽化が進み漏電等の危険がある電気設備の修繕を行う。 (2) 事業計画 平成29年度 耐震補強工事(建物) 試験製茶関連機械の整備 成分分析機の更新 試験ほ場管理機械等の整備 電気設備の修繕 (3) 事業効果 茶業研究所の施設を継続して安全に使用することができるとともに、生産者への技術指導や質の高い研究を継続して行うことができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (5) 補正予算の概要 茶業研究所施設調査において工事差金が生じたことによる減額						
2 事業主体及び負担区分 県 (10/10)										
3 地方財政措置の状況										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△83,513	県 債	△84,000					487	145,559	
現計額	229,072		209,000					20,072		